

令和 3 年度

第1回在宅医療・介護連携推進協議会

会 議 録(要旨記載)

日時:令和 3 年 9 月 30 日(木)午後 1 時 30 分～

会場:市立中央図書館 2 階学習研修室 (オンライン併用)

## 1 出席者

### <委員>

伊 藤 健 ( 浜名医師会 )  
鈴 木 隆 ( 浜名医師会 )  
塩 野 州 平 ( 浜松市薬剤師会 )  
内 山 大 輔 ( 介護老人保健施設まんさくの里 )  
鈴 木 織 江 ( 浜名病院地域医療連携室 )  
夏 目 志津子 ( 市立湖西病院在宅支援室 )  
前 田 幸 代 ( 訪問看護ステーションはまな )  
松 井 喜 恵 ( 湖西市訪問看護ステーション )  
内 藤 加代子 ( 地域包括支援センター湖西白萩 )  
浅 井 恵 子 ( ケアプランセンター陽菜 )  
稲 本 直 子 ( サンシティあらい )  
藤 田 周 子 ( 有識者 あらい青葉クリニック )  
山 下 いづみ ( 有識者 浜松市医師会 )

### <事務局>

牛 田 知 宏 ( 浜名医師会 )  
石 田 裕 之 ( 健康福祉部高齢者福祉課長 )  
琴 岡 文 乃 ( 健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進係長 )  
尾 崎 里佳子 ( 健康福祉部高齢者福祉課保健師 )  
松 井 美智子 ( 在宅医療・介護連携支援センター相談員 )  
村 越 正 代 ( 健康福祉部健康増進課長 )

## 2 会議次第

### 1 開会 挨拶

### 2 委員自己紹介

### 3 議事

- (1) 令和3年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について . . . 資料1
- (2) 「現状分析及び達成される目標」と「強み・弱み」検討票に  
おける達成目標の経年数値について . . . 資料2
- (3) 訪問診療自給率を上げるための取り組みについて
- (4) その他
  - ・令和3年度他職種研修・市民向け講演会計画について . . . 資料3
  - ・令和2年度在宅医療・介護連携支援センター活動報告 . . . 資料4
  - ・縁だより購読アンケート結果 . . . 資料5
  - ・退院調整ルールや在宅医療データベース調査について

### 4 次回案内

次回 11月25日（木）予定      12月2日（木）予備日

### 3 会議内容 午後 1 時 3 0 分開会

|   |  |
|---|--|
| 開会  |  |
| 1 あいさつ  | 高齢者福祉課長）お礼及び挨拶。只今から、湖西市在宅医療介護連携推進協議会を開催します。議事の進行については、伊藤先生お願いします。  |
| 2 委員自己紹介  | 伊藤会長）委員自己紹介。（名簿順に伊藤会長が指名）<br>事務局は、今年度より牛田先生が委員より事務局（医師会）側へ、連携支援センター相談員が交代。   |
| 会長副会長選出   | 会長・副会長については、任期が更新されましたが、引き続き私（伊藤）が会長を、副会長は浜名歯科医師会の尾崎先生に代わり、伊藤先生にお願いしたい。<br>委員一同）異議なし。  |
| 3 議題  |  |
| (1) 令和 3 年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について                | 伊藤会長）議事（1）について事務局から説明をお願いします。<br>事務局 資料 1）<br>手引が新しくなったことにより今回から、 <b>ア</b> <b>イ</b> の現状分析、課題抽出、施策立案を行いながら、対応策の実施として <b>エ</b> <b>オ</b> <b>カ</b> <b>キ</b> を行い評価、改善、 <b>ウ</b> の「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築」が地域の目指すべき姿、また今回から <b>ク</b> は県による支援へと変更になっている。<br><br>伊藤会長）質問等については、議事（3）説明終了後にお受けする。  |
| (2) 「現状分析及び達成される目標」と「強み・弱み」検討票における達成目標の経年数値について | 伊藤会長）事務局から説明をお願いします。<br>事務局 資料 2）<br>資料 2－1 について、赤字のところが、今回修正しているところ。<br>○自宅以最期を迎えたい：要介護認定者 42.8%、それ以外 46.3%。<br>○65 歳以上湖西市死亡場所：在宅死亡 7.9%、病院診療所死亡 76.2%。<br>○介護が必要になった要因：1 位 骨折・転倒、2 位 悪性新生物、3 位 認知症。<br>達成される目標（青字）として 4 つ上げており、資料 2－2 に経年データをまとめた。<br>資料 2－2 の達成される目標の推移：介護認定率は横ばい。主介護者離職率は 2017 年 15.1%、2020 年 13.2%と減少。訪問診療自給率目標を 2025 年 100%とした場合 2020 年では 59.2%。<br>強み弱みについては委員の皆様から頂いた意見を参考に修正している。 |

(3)訪問診療自給率  
を上げるための取  
り組みについて

伊藤会長) 事務局からお願いします。

事務局) 訪問自給率を上げる為にはどうしたらよいか意見を伺いたい。

前田委員) 訪問自給率が上がらない背景について何かアンケート等あるのか。

事務局) アンケート等はとっていない。実績からのデータ。

伊藤会長) 何か上げる為の意見はあるか。

医師会事務局 牛田先生) アンケート等するのは簡単だが、実際どうしてあがらないのかを掘り下げることが必要。何が問題で自給率があがらないのか、各職種からの意見交換及び問題提示型の研修をしたらどうかと医師会として考えている。叩き台としてうまくいかなかった事例をあげ、どうして訪問するのが難しかったかの自己分析や同職種間での分析、また他の職種から意見をもらい解決策が見えることで自給率が上がればと考えている。訪問される側も含めた立場によっての取組の理解や共有。

伊藤会長) 自給率を上げたくても上がらない理由や解決策を皆で考え⇒自給率をあげる。訪問する側だけでなく、訪問される側の意識も。

山下委員) 数字の見方、分析の仕方にもよると思うが、訪問率は、3年間で10%程度上がっている。2025年には100%にしたいと言うことは、(理想は) 残りの120件をすべて医師が訪問しなければ、100%にはならない。

医師会事務局 牛田先生) 今までは、課題は訪問診療を受けてくれない先生がいるということであったが、医師が受ける受けないより内容に問題がある場合も多い。どういう事例なら受けられ、どういう事例は受けられない、またどんなサポートがあれば受けられるかを掘り下げて解決に向け取り組んでいくことが必要だと思う。

山下委員) 訪問診療の依頼の際には、依頼内容も配慮が必要。

依頼されたことを、自医院で対応できるかの判断が必要であり、その難しさを感じている。

例えば、あと数日ではあるが、自宅で看取りをしたい、という依頼があった場合、麻薬を使用していれば、その管理を医師が実施するのは当然だが、周りでサポートする側も麻薬管理ができないといけないという事象がある。内容は大切。

|                        |   |
|------------------------|---|
|                        | <p>藤田委員) 自給率は、医師の問題やマンパワーおよびスキル不足もあるが、連携も必要。しかし多職種での連携だけでなく、医師同士の連携も大切。難しい症例でなくても、具体的にすすめるための話し合いや対策の共有が大切。</p> <p>伊藤委員) 医師側も勉強、研修などが大切。</p> <p>藤田委員) グループセッション位のほうが良いと思う。</p> <p>夏目委員) うちの病院でも緩和ケア外来を中心に終末期の患者の受け入れはいつでもOK。太田医師、認定看護師もシズケア*かけはしが利用できるようにしている。薬剤師も 地域の中で連携に関わっていこうと準備している。ルールやシステム化が整えば、進めていけるのではないかと思います。</p> <p>伊藤会長) 具体的になっていくと良い。</p> |
| (4) その他                | 伊藤会長) 医師会事務局から説明をお願いします。  |
| 令和3年度多職種研修・市民向け講演会について | <p>医師会事務局 牛田先生 資料3) 多職種研修会はACPの続きで、11月はACPの復習を兼た研修、2月は実習を予定。</p> <p>市民講演については、人任せではないACPにつながる講演。在宅医療を受ける世代だけではなく、支える側の世代の方々を含めたもの。支えてもらうばかりでなく、資源の中で自分たちができることは自分たちで行う参加型の研修をして、それが、自分自身のACPにも繋がっていくことを考えている。</p> <p>伊藤会長) ご意見ご質問がありますか。<br/>一同) 質疑応答なし。</p>  |
| 令和2年度在宅医療・介護支援センター活動報告 | <p>伊藤会長) 事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 資料4・5) 資料4をご覧ください。</p>  |
| 縁たより購読アンケート結果          | <p>資料5-1はアンケート結果を数字やグラフ化。5-2は皆様の意見を項目別にそのまま載せている。</p> <p>今後より多くの方に、連携支援センターについて知ってもらうことや、たよりを購読してもらうことが大切と感じた。それが在宅医療・介護連携の必要性を多くの方に理解してもらうことに繋がると思う。ご意見を取り入</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>退院調整ルールや<br/>在宅医療データベ<br/>ース調査について</p> <p>4 次回案内</p> | <p>ながらできるところから、市内の専門職の方々の興味を誘うような情報発信ができればと思う。</p> <p>伊藤会長) ご意見ご質問ありますか。<br/>一同) 質疑応答なし。</p> <p>伊藤会長) 事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局) 意見記入用紙にあるように、調査を行い今後の対応について決めていきたい。</p> <p>伊藤会長) ご意見、ご質問はありますか。<br/>一同) 質疑応答なし。</p> <p>伊藤会長) 次回は 11 月 25 日。オンラインにて開催予定。<br/>令和 3 年度第 1 回湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を終了する。</p> <p>アンケートについては 10 月 22 日 (金) までに返信を。</p> |
|---|---|